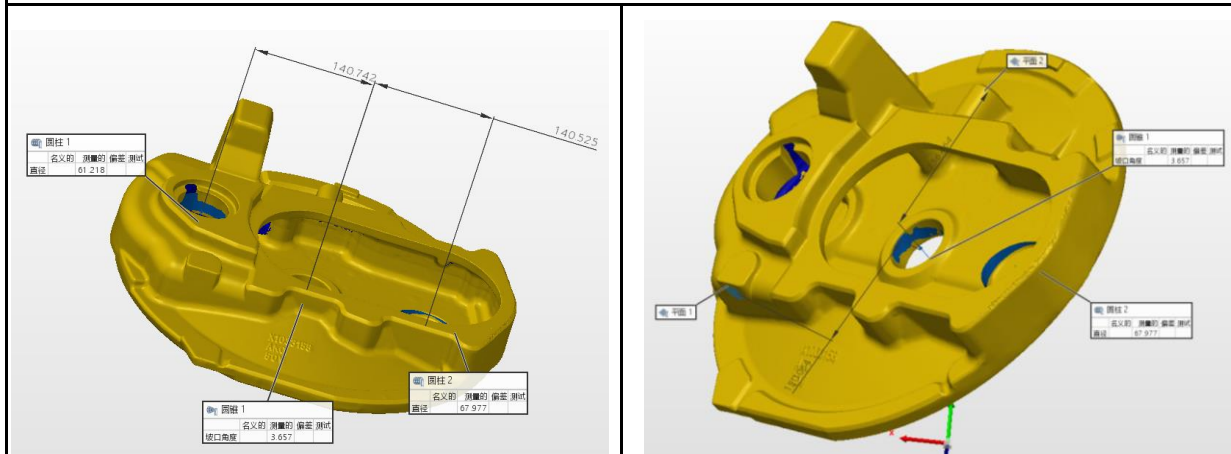


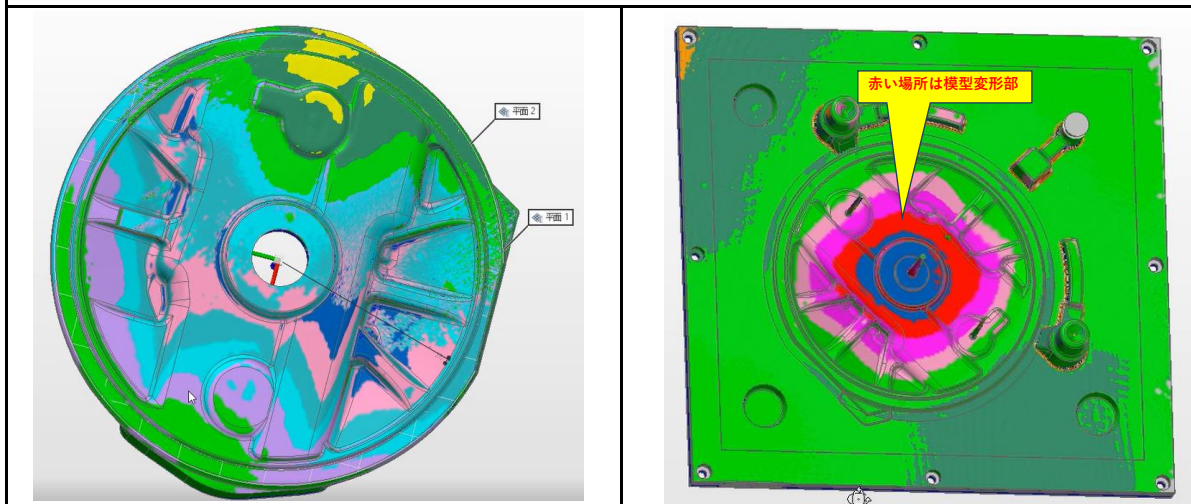
# 3Dスキャン機を導入した良い事例の紹介

## 幾何公差検査/評価事例



秋岡貿易は今まで幾何公差の検査は、定盤で製品を立たせて、ケガキ検査で合計計算した数値で検査しましたが、2024年3月に3Dスキャン機を導入したことにより、幾何公差を直接に数値化で検査、評価できるようになりました。そして、検査精度、検査効率を向上によりお客様の信頼性向上に繋がっているほか、社内での検査体制、評価体制の整備による専門商社（技術支援、品質指導）として、参ります。

## 不良調査/対策事例



今回の不良事例は、模型の変形により製品の肉厚、変形になった不良です。

今まで、ケガキ検査や模型の変形量は定量的に検査、評価できないから、外注に三次元測定機に依頼したりしていました。

外注に依頼することはコスト高騰、納期遅延により、お客様に迷惑をかけてしまい、秋岡貿易の評価も低下になってしまいます。

今回は、模型の実体を3Dスキャンでデータを収集し、模型と3Dモデルを比較すると、模型は造型時に圧力により変形になってしまいました。

模型の補強作業を実施して、問題を解決するようになりました。